

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【中島小学校】

＜全学年：魚つかみ取り大会＞

本校は、7月に「魚つかみ取り大会」を実施している。この大会では、地域の方々の協力のもと、児童が中島の主な産業「漁業」に慣れ親しんでいる。大小さまざまな魚に直接触れるといった珍しい体験をする。また、たくさんの大人と関わることから、学校行事にはたくさんの人に支えられていることを児童は実感することができる。自分の手で取ることができた魚は、その日のうちに持ち帰り、各家庭の食卓に並ぶことが多い。そこでは、児童が自分の手で取ったという達成感を味わうとともに、「生命をいただく」ことを実感できると考える。どの児童も、魚を追う際は目を光らせ、楽しみながら取り組んでいた。そして、地域の方々の協力に感謝するとともに、児童が魚と深く関わったことで地元産業である漁業に関心を持つことができた。



＜第5・6学年：みかん博士になろう＞

本校の校庭には、3年前からみかんの木を植えている。その木は現在の高学年が主となって育てている。また、総合的な学習の時間には地元のみかん農家へ見学に行ったり、校庭のみかんの木を観察したりと様々なことをした。今年度は、みかん農家へ2回訪問し、みかんの種類ごとの育て方や各農家での育て方の違い、収穫体験などを実施した。調べることを通して、農家ごとのこだわりを聞いては中島のみかんのおいしさを追究したり、それを校庭のみかんの木に還元してよりおいしいみかんにしようと育てたりと、単元名にある「みかん博士」になれるように児童は意欲的に学習していた。12月には、5・6年生が育てたみかんを全校児童と収穫して持ち帰り、味わった感想を伝え合った。大きくなったみかんに感動するとともに、みかんを育てる苦労や地元産業への誇りを感じていた。

